

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

三度目の緊急事態宣言が発令されました。今回はこれまでのものよりも厳しい内容となっています。お困りのことがあれば、北神けいろう事務所に申し付けてください。皆様と力を合わせて参ります。

他方、ワクチンの接種は先進国でもっとも遅れています。英国では既に国民の半分がワクチン1回分接種を終えており、都市封鎖の効果と相まって、感染者数、死亡率とも大幅に減少しています。

我が国が遅れている理由は様々ありますが、なんとも残念なのは国産ワクチンがない、ということです。日本の製薬会社は米国やスイスと並んで極めて優秀とされています。

にもかかわらず、なぜできないのでしょうか。

我が国に伝染病が少ないことや、会社が訴訟を恐れて、ワクチン開発に力を入れてこなかったのも、たしかに一つの理由でしょう。

しかし、そもそも民間会社に対して、いつ到来するかわからないウィルスに巨額のお金をかけて、平時から

ワクチン開発をすることを求めるのは酷でしょう。

欧米やロシア・中国などは、バイオ・テロや細菌戦争に備えて、ワクチン開発を国防の一環として考えています。したがって、平時から国の予算を投じて、基礎的なワクチン開発を支援しています。今回も、こうしたことから驚異の8ヶ月程度で開発に成功しました。

逆に、我が国は、こうした発想すら政治家にも役所にもなかったと思われれます。しかし、バイオ・テロまで云々しなくても、気候変動、未開地の開発、各国間の交通が飛躍的に増大する中、今後も毒性の強いウィルスの出現を想定すべきです。

目先の利益ばかり追い求めるあまり、危機管理をおろそかにするのは日本の弱点です。ワクチン開発に限らず、国が研究開発に力を入れるべき分野はまだあります。